

書のまち春日井と 小野道風

みなさんが住んでいる春日井市は
書道がさかんな「書のまち」です。
これには、小野道風という人が
深く関係しています。
マスコットキャラクターの道風くんは、
道風をモデルにしています。



名前

「書のまち春日井」
マスコットキャラクター 道風くん
©Kasugai City 2008

小野道風 (八九四〜九六六年)

小野道風は、今から千百年ほど前、
平安時代に生きた人です。

そのころ、日本でいちばん字が上手でした。

これは道風をえがいた古い絵です。

筆を持って紙を前に置き、

何を書こうか考えているようです。



小野道風肖像画(観音寺蔵)

やなぎに
とびつく
かえる

努力家の道風を主人公とした
お話が伝えられています。

ある日、道風はやなぎの葉にと
びつこうとしている蛙を見つけま
した。やなぎの葉は高く、とびつ
くのは無理だろうと道風は思いま
したが、蛙は何度失敗してもあき
らめずにとび、とうとう葉にとび
つくことができました。

この蛙を見て努力の大切さを知
った道風は、心を新たにさらに努
力を続け、すばらしい書を書いた
のです。



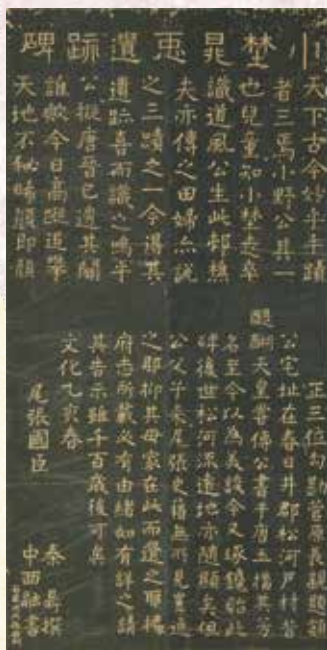
道風の 誕生伝説

道風が春日井で生まれたという伝説があります。左の写真は、二百年くらい前に建てられた石ひで、松河戸町の道風公園にあります。

その石ひには、「道風が春日井で生まれたと言い伝えられている。」と書いてあります。



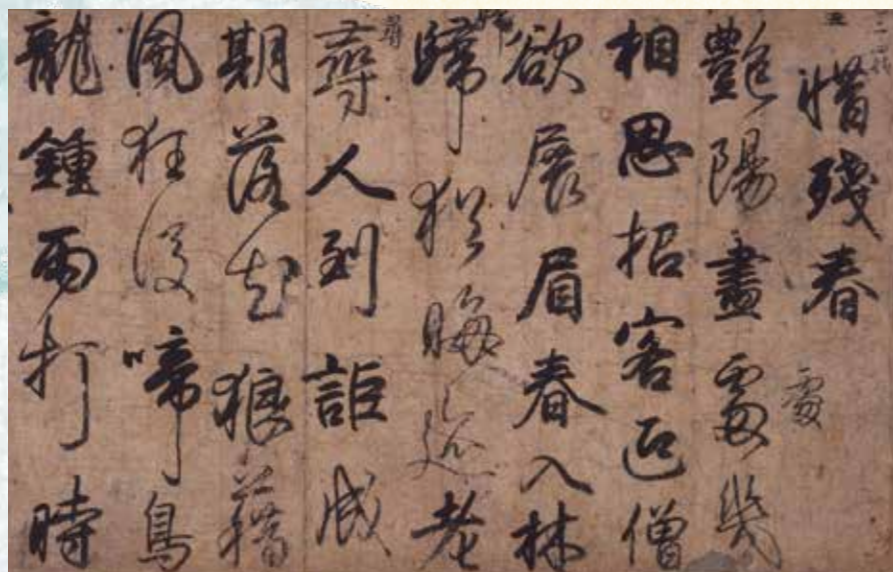
小野朝臣遺跡碑



小野朝臣遺跡碑の拓本



屏風土代



小野道風筆屏風土代(部分)(宮内庁三の丸尚蔵館)

道風の書

平安時代中ごろまで、日本では中国の書をお手本にして中国風の書を書いていました。しかし道風は、まねをするだけではなく、新しい日本風の書を書きました。道風がつくりあげた書を「和様の書」といいます。



ここに注目!

上の屏風土代の写真
四行目の「春」



筆をゆつくりと動かして書いています。とがった線はほとんどなく、おだやかでやさしい感じがします。これが、道風の書いた「和様の書」の特色です。他の字もよく見て、やわらかい感じがするとところをさがしてみよう。

書のまち春日井

春日井の人たちは、ここが道風のふるさとだと信じ、大切に思ってきました。また、道風のように字が上手になりたいと思う人がたくさんいたので、自然に書道のさかんなまちになりました。

そして、「書のまち春日井」を合言葉に、さまざまな取り組みが行われています。

● 小学校の書道科

一年生から毛筆の書道を習うのは、全国でもめずらしいことです。



上：席上きごう大会 下：道風展



上：教育展 下：小学校の書道科

● 教育展

クラスの代表の作品が春日井まつりの会場にてんじされます。

● 県下児童・生徒席上きごう大会

小野小学校に学校の代表が集まる書道大会です。

● 道風展

全国から作品が集まる書のてんらん会です。

書道を習うみなさんだけでなく、それを教える先生も一生けん命書の勉強をして、みんな「書のまち春日井」をもう上げようがんばっているのです。



住所 春日井市松河戸町5丁目9番地3
TEL 0568-82-6110
<https://www.city.kasugai.lg.jp/shisetsu/bunka/tofu/index.html>

道風記念館

道風記念館は、書をせん門にしているとてもめずらしい美びゅつ館です。道風について知ることができ、いろいろな書の作品をみるができます。ぜひ行ってみてください。

